

## 小学校外国語活動 学習指導案

学校名 三次市立甲奴小学校  
 指導者 HRT 長手 英克  
 ALT Kelechi Amadi

- 1 日時 令和3年 6月17日(木) 5校時  
 2 学年 第3・4学年 18名  
 3 単元名 「How many? 見て! ぼくやわたしのマイバッグ!」(Let's Try 1 Unit 3)  
 4 単元について

- 本学級の児童は、第1学年から英語活動を行ってきており、挨拶や数、色など簡単な単語に親しんできている。また、本年度も外国語活動では、担任やALTと関わりながら英語での挨拶やゲーム、簡単な英会話も行っている。日常生活でも簡単な表現に触れさせており、英語に慣れ親しもうとする児童が多い。

6月実施の外国語活動に関するアンケート結果では、

質問項目	人数 (□/18)
「外国語活動の授業に進んで参加しています。」	18/18
「相手が英語でゆっくりはっきり話していれば、どのイラストや写真の事を話しているか分かる。」	18/18
「相手が英語でゆっくりはっきり話していれば、大体的内容が分かる。」	18/18

これらの結果からも外国語活動に対する意欲や外国語の会話に興味をもち、話を聞こうとする態度が育っていることが伺える。

しかし、以下の項目では肯定的回答が少なくなっている。

質問項目	人数 (□/18)
「英語を使って、コミュニケーションをしようとしている。」	15/18
「英語でやり取りするときには、相手の言ったことにうなずいたり、英語で返事をしたりする。」	16/18
「英語でやり取りを発表する時には、会話が続くように、知っている表現を使う。」	14/18

この結果から、会話や英語でのコミュニケーションに抵抗感を感じている児童がいる実態が浮かび上がる。その主な要因として、英語での語彙や表現に十分に慣れず、間違ったらどうしようという不安から自ら発話する事に対して自信が持てなかったり、「日本語でもいいよ。」と声かけをしても、会話をする事の楽しさを感じられずに、対話を続ける事に困難さを感じたりする児童がいると思われる。その結果、外国語活動の意欲も低下し、授業に主体的に臨めていない実態が伺える。これらの事から、児童自身が楽しいと感じ、意欲がもてるように授業改善をする必要があると考える。

- 本単元は、ファイナルタスクとして「見て! ぼくやわたしのマイバッグ!」という活動を設定している。マイバッグを作る過程で、文房具や果物、動物、形など児童にとって身近な語と出会わせて、1~20の数やそれらの物の数を数えたり尋ねたりしていく活動をしていく。単元の終末

では、自分の作ったバッグの中身をみんなに紹介する活動を通して、1～20の数の言い方や、相手に数を尋ねたり答えたりする英語表現に十分慣れ親しむことをねらった単元である。

既習事項である英語での1～10の数え方や20までの数が言える事だけを単元のねらいとするのではなく、マイバッグに入れる物を自ら決めて、その数を数えたり、自分のバッグの中に入れていた物の数を尋ねたりする等、様々な活動を通して児童が思考し、音声表現と具体的な場面や事物を結び付けて相手との対話を楽しむことを重視した単元である。

- 指導に当たっては、単元を通して、自分の好みやほしい物の数の文房具、果物、形、動物などのイラストを張り付けながら「マイバッグ」を段階的に作成していく。授業が進むにつれ、カードに貼る物やその数など、情報数が増えていく。それらをクイズ形式で友達に紹介させることで、その物の数を尋ねたり答えたりする指導を行っていく。

また、毎時間の活動の始めにALTと指導者のTeacher's talkを見せ、単元や本時のゴールの姿をとらえさせる。この時に、モデルとなる英語表現に慣れ親しませ、1～20の数や文房具、形、動物などの数を数えたり、尋ねたりする表現をつかませていく。その際、指導者の動作を交えた話し方や英語での反応など表情豊かに話す様子を見せることで、児童のコミュニケーション能力の向上にもつなげていきたい。

単元全体を通して、分からないことはALTや担任に自由に尋ねることができるような雰囲気を作ることや、担任が率先して相手と対話しようとする態度を見せることで、間違いや失敗を恐れずに、楽しみながら自信を持って話そうとする態度を養っていきたい。

また、デジタル教材で他国の数の数え方等を扱うことで、それぞれの国や地域に文化があり、それらの違いを認めたり、興味をもったりできるような指導も適宜行っていく。

## 5 単元目標

- 1～20の数の言い方や、数の尋ね方に慣れ親しむことができる。 …【知識及び技能】
- バッグに入れる物やその数を考えながら自分のバッグを作り、マイバッグの中身を紹介する活動を通して、相手に数を尋ねたり答えたりする英語表現ができる。 …【思考力、判断力、表現力等】
- マイバッグの中身を紹介し合い、自分と友達の良さや違いを認め合い、より良いコミュニケーションの在り方や人間関係を築こうとする。 …【学びに向かう力、人間性等】

## 6 新学習指導要領における領域別目標

聞くこと	ア 身近な物や形、動物やその数に関する短い話を聞いて、大体的内容が分かったり、聞き取れたりする。
話すこと (やり取り)	ウ 友達に物やその数について、簡単な質問をしたり、質問に答えたりする。
話すこと (発表)	ア 身の周りの物、形や動物の数などについて、友達の前で実物や作った作品を見せながら紹介する。

## 7 単元ゴール

コミュニケーションの目的・場面・状況	バッグの中の物やその数を尋ねたり答えたりしながら、自分が作ったマイバッグを友達に紹介する。
めざす発話例	<p>A: Hi, how are you?          B: I'm great! And you?          A: I'm happy! Look. This is my bag.          B: Please show me.          A: Ok! I like cats. (バッグの中を一瞬見せる)          How many cats?          B: Mn... Seventeen cats! Hint please!          A: Ok! Hint 1. Fifteen down. (ジェスチャーを交えて)          B: Ten cat!          A: That's right.          I like cats and fish... Twenty fish!!!          This is my dream bag! Thank you.</p>

## 8 言語材料（下線は新出表現・語彙）

主な表現	主な語彙
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ <u>How many (apples)?</u></li> <li>・ <u>Twenty (apples).</u></li> <li>・ How are you?</li> <li>・ I'm (fine, happy, good, sleepy, hungry, tired, sad, great.)</li> <li>・ What's this?</li> <li>・ I see. Me too. That's right. Oh. Really?等（反応の表現）</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ many, 数 (1-10,<u>11-20</u>)</li> <li>・ 身の回りの物 (ball, <u>pencil</u>, <u>eraser</u>, <u>ruler</u>, crayon)</li> <li>・ 果物・野菜(apple, strawberry, tomato)</li> <li>・ 形 (<u>circle</u>, <u>triangle</u>, <u>cross</u>)</li> <li>・ 動物 (dog, cat)</li> </ul>

## 9 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
1～20の数の言い方が理解でき、数を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しもうとしている。	バッグに入りたい物やその数を考えながらバッグを作り、バッグの中身を紹介する活動を通して、相手に数を尋ねたり答えたりする英語表現ができる。	入れる物やその数を考えながら自分のマイバッグを作り、中の物の数を数えたり、尋ねたりしながらマイバッグを紹介しようとしている。

## 10 児童に付けたい資質・能力

コミュニケーション能力	課題を発見し解決する力	乗り越える力
○友達に伝わる声量で、動作を交えたりしながら数を尋ねたり答えたりしようとする。	○自分が友達に紹介したい好みの物やその数を考えながらマイバッグを作り、中身の物やその数を尋ねたり答えたりしながら紹	○新しい語彙や表現を繰り返し発声し、慣れ親しもうとする。

	介できる。	
--	-------	--

**1 1 単元指導計画** (計4時間)

<聞>…聞く <や>…やりとり <発>…発表

時	各時間の目標 (◆) と主な活動 (○) 【 】 = 誌面にある活動, 資質・能力 < > <コ> ...コミュニケーション能力 <課> ...課題発見解決 <乗> ...乗り越える力	評 価			表現例	
		知 技	思 判 表	態 度		評価規準
1 本時	<p>◆ 1～10 の数の言い方が理解でき、数を答える英語表現に慣れ親しむことができる。</p> <p>○ 誌面から身の回りの物を数える。</p> <p>○ フィンガーゲーム、テンステップを行い 1～10 の数の言い方に慣れ親しむ。</p> <p>○ 外国の数の数え方の違いに気付く。</p> <p><b>【Let's Watch and Think】</b></p> <p>○ 紙面の物の数を尋ねたり、答えたりする。(課)</p>	聞			<p>・ 1～10 の数の言い方が理解でき、数を答える英語表現に慣れ親しもうとしている。</p>	<p>・ How many (apples)?</p> <p>・ One, two, three...ten</p>
2	<p>◆ 11～20 の数の言い方が理解でき、数を尋ねたり答えたりする英語表現に慣れ親しむことができる。</p> <p>○ 指導者が持っている物の数を予想して当てる。</p> <p>○ 誌面の身の回りの物の数を数える。</p> <p>○ 「マイバッグ」に自分のほしい物とその数を表現して、マイバッグを作る。(コ) (乗)</p>	聞	や		<p>・ 11～20 の数の言い方が理解でき、数を尋ねる英語表現に慣れ親しもうとしている。</p>	<p>・ How many (apples)?</p> <p>・ How many strokes?</p> <p>・ One, two ... twenty</p> <p>・ Yes.</p> <p>・ No, sorry.</p> <p>・ That's right.</p>
3	<p>◆ 1～20 の数の言い方や物の数の尋ね方や答え方に慣れ親しむ。</p> <p>○ 指導者の Small Talk を聞き、物の数を尋ねるやり取りを行う。</p> <p><b>【Let's Chant】</b> “How many?”</p> <p><b>【Activity1】</b> 同じ数のりんごを持っている友達を見つける。</p> <p>○ 「マイバッグ」に自分のほしい物とその数を表現して、マイバッグを作る。</p> <p>○ 簡単に「マイバッグ」の中身について中間発表する。(コ) (乗)</p>		や		<p>・ バッグに入れたい物やその数を考えながらバッグを作り、バッグの中身について相手に数を尋ねたり答えたりする英語表現ができる。</p>	<p>・ How many (apples)?</p> <p>・ How many strokes?</p> <p>・ One, two ... twenty</p> <p>・ Yes.</p> <p>・ No. Sorry.</p> <p>・ I see.</p> <p>・ Me, too.</p>

4	<p>◆相手に伝わるように工夫しながら，数を尋ねたり答えたりしながら「マイバッグ」の紹介ができる。</p> <p>○数の言い方に慣れるためのゲームを行う。</p> <p>○「マイバッグ」を紹介し合う。</p> <p style="text-align: right;">(課) (コ)</p>	や	発	<p>・入れる物やその数を考えながら自分のマイバッグを作り，中の物の数を数えたり，尋ねたりしながらマイバッグを紹介しようとしている。</p>	<p>・ How many (apples)?</p> <p>・ How many (apples)?</p> <p>・ One, two … twenty</p> <p>・ Yes.</p> <p>・ No. Sorry.</p> <p>・ That's right.</p> <p>・ I see.</p> <p>・ Me, too.</p>
---	--	---	---	--	---

## 12 本時の学習

### (1) 本時の目標と授業の流れ

第1時	<p>目 標：1～10の数の言い方が理解でき，数を答える英語表現に慣れ親しむことができる。</p> <p>本時でつけた資質：課題発見</p> <p>準備物：電子黒板，ワークシート，マイバッグ（単元ゴールイメージ用）</p>
-----	---

過程	児童の学習活動	指導者の役割		指導上の留意点等 ◆評価規準
		T1 (HRT)	T2(ALT)	

導入	① 挨拶をする。 ・学習リーダーが中心 となって進める。	○挨拶をする。	○Greeting
	L: Good afternoon, everyone. How are you?		
	② Teacher's Talk を聞き、バッグの中から物を数える活動を見せる。	○どんな場面か推測しながら聞くように伝える。 ○Teacher's Talk	○Teacher's Talk
	(ヒデと Amadi の会話の場面) T1: Hi, Amadi how are you? T2: Hi, Hide. I'm great! And you? T1: I'm happy! Look. This is my bag. T2: Wow cute. Please show me! T1: Ok! I like baseball. I like cats. I like fishing. (一瞬バッグの中を見せる。) How many cats? T2: Mn... Seventeen cats! Hint please! T1: Ok! Hint 1. Fifteen down. (ジェスチャーを交えて) T2: Ten cat! T1: That's right. I like cats and fish... Twenty fish!!! This is my dream bag! T2: Hide, I also want to make my bag! T1: Oh, nice idea! T2: Everyone, Let's make "Dream bag" with me!		
	③ 単元のゴールをつかむ。 ・10 より多い数を英語で言いたい。 ・何がいくつあるか数えたい。 【単元ゴールの設定】	○児童が物を数え始めたら、単元ゴールに結び付けていく。 “みんなも自分のバック作りた いよね。” “紹介する時クイズもおもしろそうだね。”	○setting the goal of this unit.
【本時のめあて】	“How many pencils? 9? 10?” “では、数の言い方や数え方に慣れていこう。”	1 ~ 10 の数の数え方や答え方になれよう	
④ 1 ~ 10 までの数の英語表現を復習する。	○既習表現を復習する。 “Let's review!”	○Review 1-10 (Flash)	
⑤ 歌を歌う。 【Let's Sing】	○歌を導入する。 “Let's sing a song.”	○Let's sing. “Ten Steps”	

<p>“Ten Steps”</p> <p>⑥ フィンガーゲームをする。</p> <p>⑦ 他の言語での数の教え方を知る。 【Let's watch &amp; Think】 p.12</p> <p>⑧ 紙面の物の数を数えたり、答えたりする活動をする。</p> <p>⑨ 本時のふりかえりをする。</p> <p>⑩ 挨拶をする。 ・学習リーダー</p>	<p>・児童が言い難い数だけ残しながらステップアップしながら「テンステップ」を歌わせる。</p> <p>○1～10の数を聞き取り、指で表現させる。</p> <p>○他の言語ではどんな数え方をするのか映像で確認し、日本と外国の違いに興味をもたせる。 No.3 日本語 No.1 英語 No.2 中国語…</p> <p>○指導者同士から児童同士に数を答えさせ、数の言い方に慣れ親しませる。</p> <div data-bbox="512 1106 1249 1482" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>T1: Look. This is a picture of my bag. (教科書の紙面を電子黒板に写す) T2: Wow! Oh,Hide, what's this? T1: It's a red tomato. T2: Ok.How many red tomato? Can you see? T1: Two red tomatoes. T2: That's right. Next. How many yellow tomatoes? (児童と一緒にさがす) S1: ん～○○ yellow tomatoes. S2: How many apples? S3: Nine apples. . . .以下児童同士でさせる。</p> </div> <p>○ふりかえりを書くよう伝え、書き終わったら発表させる。 ・分かった事 ・次に学びたい事 ・できる様になった事 等</p> <p>○挨拶をする。 “Good-bye. See you!”</p>	<p>○Finger Game.</p> <p>○【Let's watch &amp; Think】 p.12 How to count 1 to 10 in other language</p> <p>○Demonstration</p> <p>○Reflection</p> <p>○Greeting “Good-bye. See you!”</p>	<p>◆ 1～10の数の言い方が理解でき、数を答える英語表現に慣れ親しもうとしている。 (行動・発表・ふり返り)</p>
--	--	---	--

(2) 本時の板書計画

How many? 見て！ ほくやわたしのマイバック！ June 17<sup>th</sup> Thursday

④ 1～10の数の数え方や答え方になれよう

数カード

紙面の画像データ  
  
物や動物の絵カード

(3) 本時のワークシート

LT1 Unit 3-1

月 日

# How many?!

name \_\_\_\_\_

How many? 見て！ ほくやわたしのマイバック！		GOAL
① 1～10の数の、 数え方や答え方。	②	③

★ふりかえり★

きょうの外語活動は楽しかったです。	はい	番号番号	はい	番号番号	はい
友だちや先生の言っていることを分かるようにしながら、話を聞くことができました。	はい	番号番号	はい	番号番号	はい
1～10の数の数え方や答え方が、分かりました。	はい	番号番号	はい	番号番号	はい
世界の言葉や数え方で書かれたことがありました。	はい	番号番号	はい	番号番号	はい
次の外語活動が楽しみです。	はい	番号番号	はい	番号番号	はい
分かったことを書きましょう。					

こんなことを書いてみよう。

①英語のことや世界のこと

- ・○○のことを えいごでは ～ということが分かった。
- ・えいごで～というのは、○○が時につかうということが分かった。
- ・日本ではこうだけど、外国ではこういふんだと分かった。

②それ以外のこと

- ・(約束の達成) ○○が出来るようになった。○○がまだうまく書えない。
  - ゴールに向けてここまでできた。
- ・(自分の成長) 前は～だったけど、今日は～出来るようになった。
- ・(友だちのいいところ) ○○さんの意見のおかげで～だと分かった。
- ・(次にしたいこと) ここまでできたから、次はこうしてみたい。
  - これができるから、次は出来るようにしたい。
  - この課題でこのえいごを遊んでみたい。
- ・(感想) こんにちは、どう書うのが、
  - この書い方が分かるからまたからもう一週間書きたい。